

個人質問

議会事務局
処理欄

令和7年8月12日 10時01分 受付

質問順位 第7番

武豊町議会議長 石川 よしはる 殿

武豊町議会議員 石川 喜次

一般質問の通告について

令和7年第3回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
<p>1.区への加入促進について</p>	<p>【趣旨説明】 武豊町の区への加入率は、令和2年4月時点で62.12%、令和7年4月時点で55.87%となっており、年々徐々に減少している。総務省が設置した「地域コミュニティ研究会」が実施した全国1,741市区町村に対しての、自治会に関するアンケート結果によると、自治会等の加入率を世帯単位で把握している600市区町村の自治会等の平均加入率は、令和2年度では71.7%であり、これと比べてみると、本町の加入率がかなり低いことが分かる。 本町では、地域によって加入率に差があるものの、住環境の変化や多様化するライフスタイルの中で今後、加入率がさらに低下し、区の本来の機能が失われることも予想される。 そのため、将来にわたり、安心・安全なまちを維持していくために、区は区の活動について、工夫しながら、より多くの世代が参加できる仕組みづくりを考えるなど、自己改革に努め、新たな住民や未加入者に対して、加入を促進していく必要がある。 また、これまでの本町の取組としては、区の加入率の向上に向け、HPや住民窓口での加入案内などの加入促進の支援や区の負担軽減のための行政協力業務の見直し、補助金等の拡充など、様々な支援に努めてきたことは認識している。今後も、行政協力と区の努力の両輪で進めていかなくてはなりません。 一方、各地で起きている大地震や豪雨による災害の発生、高齢社会の到来等により、改めて地域コミュニティの機能の必要性が再認識されているなど、個人の力だけでは生活面の再建も難しく、地域の人と力を合わせていかなければならない状況になり、地域住民による区の活動の重要性が高まっている。 防災だけではなく、防犯や環境保全、子どもや高齢者が安心して暮らせる地域づくりのため、さまざまな課題について地域が一丸となって取り組んでいく必要があり、地域のなかでのつながりや連携、顔が見える組織づくりがますます重要になっている。 そこで、以下質問をする。</p> <p>【質問事項】 ①本町の過去10年間の区加入率の推移はどのようになっているのか。 ②加入率低下の主な要因をどのように捉えているのか。 ③加入率低下に伴い、今後どのような影響が想定されるのか。 ④町として、加入促進に係るこれまでの取り組みの効果と評価をどのように捉えているのか。 ⑤これまで、区(加入住民)と非加入住民とのトラブルを把握しているのか、また、具体的にどのような内容のものか。 ⑥条例の制定により、町が根拠を持って加入促進を進めることができると考えられるが、見解を伺う。 ⑦今後、加入率促進のための区活動に期待するものは何か。</p>

<p>2.こどもの意見を取り入れた政策づくり</p>	<p>【趣旨説明】</p> <p>こども基本法に施行により、「子どもの意見を聴き、施策に反映させる」取り組みが進められることとなりました。子どもの意見を聴くには、年齢発達に応じたその子その子の表現を受け止めることや、子どもが話しやすい雰囲気づくり、さまざまな状況にあり声を上げづらい子どもの意見も聴くことなど、多くのことに配慮した取り組みが必要になります。また、Web アンケート、ヒアリング、出前授業など多様な手法を活用し、子供が本音を話しやすいように工夫することが重要であります。</p> <p>基本法では、3条にこどもの意見表明機会の確保と意見尊重が、11条にこどもの意見を施策に反映させることが定められています。</p> <p>市町村は、こども施策について「こども計画」を定めるよう努めるものとされ、計画にあたっては、その対象となるこどもや保護者、その他関係者の意見を聴取し、計画に反映しなければならないとされており、これらを踏まえ「武豊町こども計画」が令和7年3月に策定されました。</p> <p>そこで以下質問をする。</p>
	<p>【質問事項】</p> <p>①計画策定にあたって、子ども・若者の意見表明機会の確保をどのように取り組まれたのか。</p> <p>②子ども・若者の意見をどのように計画に反映されたのか。</p> <p>③子ども・若者に影響を与える施策について、子ども・若者が参加しやすく、安全・安心に意見を伝えられる意見表明の機会や意見を尊重するために、今後どのような取り組みを考えられているのか。</p>